

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-2
消防防災対策の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

消防総務課長 荒木 正秀

電話番号

0852-22-5886

事務事業の名称	航空消防防災活動事業	
目的	(1) 対象	救助・救援を必要とする県民等 航空機を用いた消防防災活動を必要とする市町村等
	(2) 意図	航空機を用いて、迅速で機動的かつ多様な消防防災活動を行う。
事業概要	高速で機能的かつ多様な消防活動を行う。 1. 防災ヘリコプター 平成24年度現機体運航開始 2. 防災航空管理所組織 所長1名、防災航空隊員10名 パイロット・整備士等7名（民間会社に委託）	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	防災ヘリの運用におけるヒヤリハット事例の発生の抑制	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	件
	式・定義	事例の発生件数	実績値	0.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	275,701	211,368
うち一般財源 (千円)	275,701	211,368

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

防災ヘリ緊急出動件数の推移については、以下のとおりである。

H25年度	80件
H26年度	101件
H27年度	90件

6. 成果があったこと（改善されたこと）

出動要請には対応できている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 防災ヘリの出動要請があっても、自機での対応ができない場合がある。
- 防災ヘリの運航に必要な各種点検において、年度によって経費が大きく変動する。

②困っている状況が発生している「原因」

- 防災ヘリが定期点検等のため運航できない場合があるため。
- 使用年数や飛行時間などにより部品交換の基準が異なるため点検時期がずれることにより、年度によってホイストやエンジン、トランスミッション等大きな経費負担を伴う点検が生じるため。

③原因を解消するための「課題」

- 防災ヘリが点検等のため運航できない場合の他機関との緊急運航体制を整備する必要がある。
- 年度間で変動する点検等にかかる支出に対応する予算を確保する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 今後も引き続き警察本部、自衛隊、海上保安庁と県担当課で構成される県航空防災対策連絡会の開催や、消防・医療機関、他県との情報交換の実施、他の関係機関との円滑な運航手続の確認などにより連携を強化し、ヘリコプター等による広域救急搬送体制などの緊急運航体制の充実を図る。
- 今後必要となるメンテナンス項目を適宜把握し、そのために必要な財源を確保できるよう関係部署と調整を行い、耐空証明検査に必要なメンテナンスを確実に実施する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--